

団体会員になって 子どもたちの「心のケアのサポーター」に なってください！

児童養護施設に暮らす子どもたちの中には、長年にわたって虐待やネグレクト(養育放棄)を受け、心に大きな傷を負っている子どもが多くいます。私たち<NPO法人子どもの心理療法支援会>は、そうした心理的に特別な援助が必要な子どもたちに心のケア(心理療法)をするための活動をしています。みなさまが団体会員となって支払ってくださる会費は、こうした子どもたちの心のケア(心理療法)のために使われます。



多くの団体会員が増えれば、それだけ多くの児童養護施設に暮らす子どもたちが心のケア(心理療法)を受けることができます。

どうぞ子どもたちの未来のために、子どもの「心のケアのサポーター」になっていただけますようお願いいたします。



<NPO法人 子どもの心理療法支援会>って？

2005年10月設立。子どもの心のケアに関心を持つ臨床心理士や精神科医などの専門家約100名が集まっています。活動は、児童福祉領域の対象となる子ども(児童養護施設や母子寮に暮らす被虐待の子ども)や発達障害の子どもたちが心のケア(心理療法)を受けられるように支援することです。児童福祉領域の対象となる子どもたちや発達障害を持つ子どもたちの心のケアを行うには、高い専門性と多くの時間を必要とします。その支援は長期化することがほとんどで、費用もかなりかさみます。厚生労働省の施策で、児童養護施設でも臨床心理士による心のケアを提供しよう



とする動きが少しずつ形になってきていますが、入所児童すべてに対応できるものでなく、必要としている子どもたちに心のケアが行き渡っていないのが現状です。そこで私たちNPOでは、心のケア(心理療法)にかかる費用を負担し、このような子どもたちに対して専門性の高い心のケア(心理療法)を提供しようと活動しています。

また、心に深い傷を持つ子どもを適切にケアするために、専門家としての資質を向上するための研修活動も行っています。

*心理療法って何？

心のケアの具体的な方法である「心理療法」ですが、これは、心に傷を負った子どもを心理的に支え、ケアする療法です。通常、週に1回50分、特定の心理療法士(心理療法に携わる者)と決められた設定で会い、やりとりをします。これを通じて子どもたちが自分自身の人生を切り開いていく力を培うことを目的としています。幼児や小学生などの幼い子どもであれば、家族人形や描画用



具など、心の表現を手伝うおもちゃなどを用いますが、言葉のやりとりだけで表現がある程度できる子どもであれば、そうしたおもちゃなどは特に必要としないこともあります。心に傷を負った子どもたちは、大人を信用していなかったり絶望感にうちひしがれていたりするために、こうした療法が短期間で効果をもつことは少なく、たいていは数年という長い期間を必要とします。子どもたちが自分自身で自分のことを考えられるようになることが必要であり、その力を養うためには、辛い体験にもなう苦痛な気持ちにも持ちこたえて、自分の率直な気持ちに繰り返し向き合っていくことが不可欠です。この作業は子どもにとって、一人ではとうてい難しく、心理療法士の支えが必要になるのです。これを心理療法の場で行い、子どもたちの「心の成長」を支えることが「心理療法」です。

団体会員

NPO 法人子どもの心理療法支援会の活動をご理解いただき、賛同してくださる企業や団体を募集しています。年会費が、子どもの心理療法の財政面でのサポートにつながります。

対象:企業や法人などの団体

年会費:一口 10 万円(一口以上)



特典

1. NPOのホームページ内での団体名の記載とリンクの掲載
2. NPOの刊行物【会報(800部配布)、ニュースレター、専門家が参加する臨床セミナーの案内パンフレット(3500部配布)】に団体名を掲載
3. 会報(年1回発行)の送付
4. 総会での議決権あり

【申し込み方法】

振込み用紙に団体名、団体代表者名、連絡先、Eメールアドレスを明記の上、年会費(一口 10 万円より)を下記の口座にお振込みください。

口座番号 郵便振替 00990-0-192194

加入者名 NPO法人 子どもの心理療法支援会 寄付金



NPO法人 子どもの心理療法支援会

〒604-8187

京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町 444 初音館 302

Tel/Fax 075-600-3238

E-mail: info@sacp.jp

URL: <http://sacp.jp>